

	<p>桔梗が丘自治連合協議会</p> <p>平成24年度 第3回 理事会 議事録</p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成24年7月28日(土) 9:30~11:30
出 席 者	出席者・上田、河合、武仲、東、阪本、野邊、高槻、廣岡、竹原、吉野、加納、梅本、中村、山中、松村、田合監事、福森監事、森田地域担当監 欠席者・辻森、大垣。
議事 決議事項	<p>上田副会長が司会を務め会議が始まった。</p> <p>上田副会長は、「今日は辻森会長、大垣副会長が欠席です。いよいよロンドンオリンピックが始まりましたが日本人選手の健闘を祈りたい。」と挨拶を述べた。</p> <p>引き続き辻森会長が欠席の為、上田副会長が議長を務めることを承認し、審議が始まった。</p>
1. 議事録署名人	<p>本会議の議事録署名人に東弘文氏、野邊薫氏の2氏を指名することに決した。</p>
2. 地域ビジョン 「ほっとまち」 プロジェクト事業 概要」の承認 について。	<p>阪本企画運営委員長から、地域ビジョン「“ほっとまち”プロジェクト事業」の概要について別添え資料に基き、概ね次のような説明があった。</p> <p>「事前に資料を配付させていただいたので、それを前提にして進めさせていただく。」</p> <p>(1) 7項目の事業概要について</p> <p>「推進プロジェクトチームでは、地域ビジョンに定められた7項目の事業の実施時期及び優先順位、並びにプロジェクトチームの設置年度を決めた。詳細は資料に記載をしているのでご確認いただきたい。</p> <p>このうち平成25年度に実施を予定しているのは、「拡大版あそびつくすの組織化」「ふれあい茶房」の開設の2事業です。これらの事業は名張市ゆめづくり協働事業提案制度に基く協業事業申請をすることにしたい。(申請の締切りが8月末となっている。)</p> <p>「拡大版あそびつくす」の名称は仮定とし、子どもとの絆づくりにふさわしい名称を検討している。「ふれあい茶房」は当初のところは桔梗が丘公民館でスタートを考えている。その他の事業については資料に記載されたような順で実施に向けて検討して行く。」と述べた。</p> <p>(2) 平成24年度プロジェクトチームメンバー募集</p> <p>(3) プロジェクト事業サポーターの登録</p> <p>阪本企画運営委員長:「いずれの事業も実施にあたっては、推進メンバーの募集を行い、人材を確保しなければならない。そこで平成25年度に実施を予定している「拡大版あそびつくすの組織化」と、「ふれあい茶房」の2事業に携わってい</p>

ただメンバーの募集をしたい。併せて、プロジェクト事業サポーターの募集も行うことにしたい。因みにプロジェクト事業サポーターとは、企画立案したり、会議に出席したりは出来ないが、これまでの経験を生かして何か地域に役立ちたいと考えておられる方に事前に登録していただき、必要な時に協力をさせていただこうと考えている。

「以上の事項について地域住民の皆さんに周知を図るために、8月末に各戸に資料の配付を予定している。」と述べた。

引き続き、配付する事業概要の説明があった。(詳細は資料参照)

引き続き議長は出席者の意見を求めた。

野邊理事：今回の事業の原資はゆめづくり協働事業提案制度に基づくものであることを確認したい。平成25年度は3000万円を予定しているのか。

森田地域担当官：その予定をしている。(今秋頃決定)その上で各地域からの要望みて、初年度でもあるので各地域共200万円の予算でお願いすることになると思う。

野邊理事：平成26年度以降はどのようになるのか。

森田地域担当官：これは未定です。平成25年度の状況を勘案していく事になる。但し、平成25年度並の額は確保したいと考えている。

野邊理事：それでは、我々は市側からの支援は継続してあると考えていくが、それで良いか。

森田地域担当官：結構です。

野邊理事：平成25年度の2事業のうち、「ふれあい茶房」は平成27年度にまたがって継続することになっているが、市側の補助金は25年度末に事業を完了する事となっているが、その後の年度の予算措置はどうなっていくのか。

阪本企画運営委員長：ほとんど全ての事業が年度をまたがって実施することになっており、平成25年度の200万円は初期費用に充てられるものと考えている。

森田地域担当官：市の会計は単年度制になっているが、実際の事業は継続していくものです。そこで立ち上げ時の初期費用は今回の交付金を充て、その後の事業費は他の交付金を利用いただくような形になると思う。又ゆめづくり協働事業の交付金は単年度で処理をしていただきたい。

吉野理事：3000万円の交付金は、各地域の支出額に関わらず15分の1の200万円となるのか、各地域の状況をみて変更はされないか。

森田地域担当官：平成25年度は基本的には考えていない。執行残が出る時期にもよるが。

河合理事：今後の課題として地域間の各種の格差もあると思うので、次年度以降の予算編成時に考慮していただきたい。

野邊理事：7項目の事業の優先順の決定はどのようになされたのですか。

阪本企画運営委員長：まず第1には、地域の子ども達を将来にわたって健康に、健全に育成するための事業、次に、今後増える高齢者の為に地域として取組める

事業を考えた。その他、桔梗が丘地域の実情にあったまちづくりを進めるために合った良い方向性を定めた。(実際の各事業の説明)

吉野理事：プロジェクトチームのメンバーの募集をすることになっているが、既存の部会員との兼ね合いはどうなるのか。住民に対する募集の告知はどうなるのか。

阪本企画運営委員長：今回募集するのは、2事業のプロジェクトチームのメンバーで、各部会からも入っていただき、新事業との関わりを見ながら推進して行きたい。事業サポーターは実際に事業に携わっていただく方になる。こちらは7事業すべてに亘って募集する。今回の募集要領を地域の方に理解していただく為募集要項の各戸配付とポスターを作成し地域内に掲示する。

野邊理事：事業開始の優先順位の件に戻るが、必ずしも地域住民のニーズに合致していないように感じるが、その辺はどうか。

阪本企画運営委員長：昨年実施した住民アンケート満足度の項を重視した。その他、地域の子ども達との絆づくりと健全育成を重要視した。一方、市の定めた11項目は十分に考慮した。

<メンバー募集にあたっての意見交換>

・メンバー募集は並大抵ではないと思うので、相当の努力が必要になるとの意見が多く出された。

竹原理事：「拡大版あそびつくす事業」に既存の部会員が参加するのは、現在の活動で手一杯の状況で参画は難しいと思う。ついては、子どもに関わる事業については、PTA、学校の協力を得られるようにすべきではないか。

阪本企画運営委員長：その点は充分理解している。この問題は立ち上げ後検討し、学校側と協議したいと考えている。

廣岡理事：子どもたちの地域環境づくりに地域の大人がどのように関わっていくかという問題と思う。又これに学校がどのように連携するかということになると思うが、現状の学校を取り巻く環境を見ると、PTA等が関わるのは大変難しいのではないかと思う。PTA役員、先生は大変行事が多く多忙であり、一方教職員数も減少傾向にある。しかしながら、学校関係者もこのような活動が大事であり、その必要性も感じている。

一方、街の空き店舗を利用した「ふれあい茶房」のような地域の絆づくりの場を設けることは、学校教育の場で取り上げることも可能で、大変意味のある事と思う。

引き続き、「あそびつくす花いっぱい運動」の具体的な運用上の問題について意見交換があった。(水の確保、世話をする時間帯等)

阪本企画運営委員長：「あそびつくす花いっぱい運動」は、名張市「ゆめづくり協働事業」に申請する際は、地域の子ども達との「絆」作り活動の一環として取り上げる予定で、これ以外の活動も検討している。

吉野理事：東小学校の「あそびつくす」の組織、活動内容(花いっぱい運動、放課後活動等)を、一度参考例として取り上げ、検討してはどうかと提案したい。

報告事項	(親と子の絆づくりに役立っている。)						
1. 桔梗が丘夏まつり応援体制について	<p>阪本企画運営委員長：地域3小学校区のそれぞれの活動は報告されているが、更に盛り込むべきものを検討している。</p> <p>引き続き議長から、ほぼ意見が出揃ったようなので、採決をしたいと述べ、地域ビジョン「“ほっとまち”プロジェクト事業概要」について、賛成者に挙手を求めた結果、全員挙手し、異議なく承認された。</p>						
2. 平成24年度「敬老の日の行事」について	<p>高槻健康推進部会長から、桔梗が丘夏まつり応援体制について、別添資料に基づき概ね次のような説明があった。</p>						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏まつりの準備応援は昨年同様に各自治会（区）長および評議員の皆さんにご協力をお願いした。 ・ 作業の分担は、配付資料に記載の通り、①8月18日（土）午前9時30分に3箇所（桔梗が丘公民館、南公民館、商店街）に分かれて全員参加。②午後3時に半数の方が会場設営。③午後9時に残り半数の方が会場の撤去作業。④8月19日（日）午前8時から全員参加で備品を公民館に運搬して整理収納する。 ・ 当日搬送する備品は事務局にリストアップを依頼している。 						
3. 平成24年度協議会会計及び公民館会計累計報告について	<p>高槻健康推進副部会長から、平成24年度「敬老の日の行事」は次のような要領で実施する旨、別添資料に基づき説明があった。</p>						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿記念品（商品券）を70歳と88歳の方に贈呈 ・ 敬老の日のお祝い品を70歳以上の方全員に贈呈。（具体的な中身は未定） ・ 対象者数は70歳と88歳の方は297人（昨年比6人減）、70歳以上の方は2,712人と昨年比145人増となっている。 ・ 長寿記念品は各ブロック長のお宅に9月9日午前中に届けられる。 ・ お祝い品は9月15日（土）午前10時以降に桔梗が丘公民館から引き取っていただく。いずれの品も配付にあたっては民生委員の協力を仰いで下さい。お祝い品の余った分は各地区で処理をしていただく予定。 						
	<p>松村事務局次長から、平成24年度協議会会計及び公民館会計累計（平成24年6月末）について、別添え資料に基づき、概ね次のような報告があった。</p>						
	協議会会計						
	収入の部						
	<p>2 交付金「名張市ゆめづくり地域交付金」 14,988,400円 （内訳は累計表記載の通り）</p>						
	支出の部の内訳						
	<table border="0"> <tr> <td>1. 総務費</td> <td>6. 防犯防災費</td> <td>200,000円（消防団補助金）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10. 雑費</td> <td>3,975円</td> </tr> </table>	1. 総務費	6. 防犯防災費	200,000円（消防団補助金）		10. 雑費	3,975円
1. 総務費	6. 防犯防災費	200,000円（消防団補助金）					
	10. 雑費	3,975円					

3. 広報費	事業費	40,425円	(ききょう通信)
4. 健康推進費	事業費	30,000円	(講師料)
5. 住民交流費	繰出金	900,000円	(桔梗夏まつり)
6. 教育文化費	事業費	16,000円	(私の一冊文庫)
8. 快適環境費	事業費	77,411円	(ホテル観賞会他)
9. 地域福祉費	事業費	27,400円	(いきいきサロン)
12. コミュニティ活動費		5,131,400円	(各自治会・区へ)
合計		6,426,611円	

引き続き、公民館会計について、別添え資料に基き、概ね次のような報告があった。

公民館会計

収入の部（主な科目のみ）

1. 使用料等	201,444円	(使用料とコピー代)
合計	201,444円	

支出の部（主な科目のみ）

1. 人件費	755,000円	(館長・職員給与)
2. 管理費		
1. 消耗品	23,226円	(コピー用紙、印刷機等)
3. 光熱費	222,255円	
6. 委託手数料	120,230円	(清掃委託、エレベーター 一点検委託等)
7. 備品購入費	14,220円	(刈払機)
8. 使用料	66,211円	(リース料等)
9. 車両費	79,014円	(車検代等)
3. 運営費		
1. 報償費	50,000円	
5. 事業費	38,344円	(主催講座教材費用)
合計	1,384,181円	

4. 平成24年度桔梗が丘公民館展について

中村公民館長から、平成24年度桔梗が丘公民館展について別添え資料に基き概ね次のような報告があった。

「第28回目となる本年度の公民館展は例年通り、登録サークルを始め、公民館講座の参加者が日頃の学習成果を発表することになる。」と述べた。

<公民館展の概要>

- ・ 日程 平成24年10月20日（土）～21日（日）2日間
- ・ 実行委員会を立ち上げて運営するが、準備は順調に進んでいる。
- ・ 主催が公民館と自治連合協議会となっているので、ご協力をお願いします。
- ・ その他の事項は資料に記載の通りです。

5. 委員会・部会報告

<総務委員会>

大垣副会長（総務委員長）欠席の為、山中事務局長から次のような報告があつ

た。

本年度の「地域ビジョン」実現に向けての研修（視察先）が決定した。

- ① 豊中市新千里東町「ひがしまち街角広場」
- ② 大阪市淀川区三津屋商店街「みつや交流亭」
- ③ 日時は11月10日（土）で決定。先方の受け入れの承諾も得ている。
今後詳細を詰める事になっている。

<企画運営委員会>

阪本委員長から、先程報告の通り、8月末までに名張市「ゆめづくり協働事業」に申請する予定で鋭意進めている旨、再度報告があった。

<広報委員会>

野邊委員長から、「ホームページの更新が進んでいる。各会議の議事録を掲載するようにした。最近はアクセス数も徐々に増加している。（詳細資料記載）

ききょう通信は8月発行を予定していたが、記事の関係で9月発行に変更したのでご了承いただきたい。内容は“ほっとまち”プロジェクト事業の概要紹介・進捗状況。今後、我々の組織にとって避けることの出来ないと思われる、地縁団体法人化（NPO法人化）への取り組み紹介を取り上げたいと考えている。

その他、掲載記事についてヒントがあればお教えいただきたい。」と報告があった。

<健康推進部会>

高槻部会長から、「9月30日（日）開催の「ききょう健康講座」は当初2名予定していたが、竹田講師側の都合により、三重大学医学部の伊藤正明教授のみの講演となりました。告知は「8月桔梗が丘げんき通信」に記載し、又チラシを回覧します。」と報告があった。

<住民交流部会>

廣岡部会長から、「8月18日（土）の「桔梗が丘夏まつり」実施に向けて、7月18日（水）部会を開催し、模擬店・フリーマーケットの受付後の取扱等について検討した。引き続き7月21日（土）模擬店出店者会議を開催し、本年度の詳細を説明した。昨日現在模擬店の出店者は31店で昨年比4店増となっている。

今年は遠方からの申込みがあったが（ホームページに掲載されたため）、原則として地域の方に限る事にしてお断りをした。

模擬店の出店では、毎年機の貸し出しで、不足が多いため、本年度は厳正に対応する事にしたい。

夏まつりの住民への告知は、8月の回覧時に各戸へチラシ配布と、各自治会（区）にポスターの掲出依頼をする。その他、行政機関への許認可事項の申請、駐車場借用願等順調に進んでいる」と述べた。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、「7月12日(木)定例部会を開催し、桔”ずセミナーの開催に向けての最終確認を行った。今回の参加者は料理24人、科学20人、手芸33人、囲碁6人、ソーラン16人、太鼓7人の106人です。これにボランティアの方28人と部会員16人で総合計150人で開催する運びとなった。

この内、手芸が予想を上回る応募があり、急遽ボランティアさんを増やした。囲碁の個人用練習板を部会の負担とした。

私の一冊文庫の「しほりの写真展と小学校の教科書と国語の教科書に出てくる本展」が無事終了した。たくさんの方にお越し頂いた。ご協力感謝します。」と報告があった。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、「青色回転灯装着車による防犯パトロールの活動記録を名張市に年1回の報告が義務付けられているので、添付資料の通り提出した。」

内容は原則月4回、隊員は4人から6人で延べ295人。年間の総回数は43回。と報告があった。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、「三重県の河川管理担当者から、例年、ホテル観賞会を実施しているシャククリ川で、両側の木々が大きくせり出しているので、防災上の問題もあり、整備したいと申し出があった。地元の区長さんと共に立ち会って伐採することにした。住民の皆さんにもご了承いただきたいと思っている。

ゴーヤの持ち帰りコーナーを公民館に設置した。9月10日頃から写真展を実施する予定をしている。」と報告があった。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、「今年の夏まつりには、民生委員が12人参加して模擬店を運営する。

敬老の日の行事には例年通り各自治会(区)長に協力して行くことを、定例会で確認をした。」と報告があった。

<事務局>

松村事務局次長から、「夏まつりの協賛金は7月26日現在、818,000円となっている。」と旨報告があった。

森田地域担当官から、来る7月30日(月)から3回にわたり、名張市考査委員会の公開実施が行われるので、時間がある方はご参加下さい。資料は公民館の

その他

1. 名張市考査委員会の公開実施について

2. 桜の苗木配付(公益財団法人・日本花

<p>の会結城農場)</p> <p>3. 宝くじ助成金による防災備品納入について</p>	<p>カウンターに置いてあるので、ご覧を頂きたい旨を述べた。</p> <p>山中事務局長から、「辻森会長からの要請です。公益財団法人・日本花の会結城農場が「桜の苗木」配布の事業を行っているようなので、先日の自治連合会で案内をしました。希望の地区は8月18日までに申し出ていただく事になっている、(詳細は資料参照)快適環境部会を始め皆さんの中でも、関心があればご検討いただきたい。」と述べた。</p> <p>山中事務局長から、「宝くじの助成金による防災備品が発電機を除いて納入された。今後、倉庫を整備する事になっている。」と報告があった。</p> <p>以上で議事は終了した。</p> <p>次回理事会は、平成24年8月25日(土)</p> <p>時 間 午前9時30分より</p> <p>場 所 桔梗が丘公民館 202号室</p> <p>議 長 <u>上田 博</u> (上田)</p> <p>議事録署名人 <u>東 弘文</u> (東)</p> <p>議事録署名人 <u>野邊 薫</u> (野邊)</p>
--	--

	会長	副会長	総務委員長	書記
				